【FdData 中間期末：中学歴史江戸時代】

[都市の発達]

◆パソコン・タブレット版へ移動

[大阪：天下の台所]

[問題](要点把握)

次の下線部 A～E で誤っているものを 2 つ選び，正しい語句に直せ。

江戸時代，各地の大名は，右の地図の A アの B 大阪に，右図のような C 米屋敷をおいて D 米や特産品を販売して藩の財政をまかなった。B の都市は，全国の商業や金融の中心として栄えた商業都市で，E 将軍の台所と呼ばれた。

[解答]C 蔵屋敷，E 天下の台所

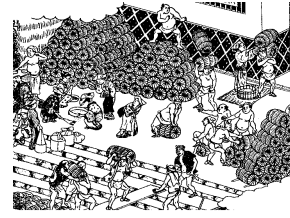
※出題頻度：「大阪(地図)〇」

「天下の台所◎」「蔵屋敷◎」

[問題](2 学期中間)

次の各問いに答えよ。

(1) 江戸時代, 右の資料のような諸藩の倉庫を備えた邸宅が置かれた都市はどこか。



(2) 右の資料のような諸藩の倉庫を備えた邸宅を何というか。

(3) 江戸時代，全国の商業や金融の中心となっていた(1)の都市は何と呼ばれていたか。

(4) (2)に最も多く収められていたものは何か。資料を見て１つ答えよ。

[解答](1) 大阪　(2) 蔵屋敷

(3) 天下の台所　(4) 米

[問題](前期期末)

次の各問いに答えよ。

(1) 江戸時代，諸藩が蔵屋敷を置き，「天下の台所」と呼ばれていた都市はどこか。都市名を答えよ。

(2) (1)の都市の位置を図のア～カから選べ。

(3) (1)の都市が「天下の台所」と呼ばれていた理由を「蔵屋敷」「米や特産物」「商業や金融」という語句を使って書け。

[解答](1) 大阪　(2) オ　(3) 大阪には諸藩が米や特産物を販売するために蔵屋敷をおき，大阪は全国の商業や金融の中心であったから。

[三都]

[問題](要点把握)

次の下線部 A～F で誤っているものを 2 つ選び，正しい語句に直せ。

江戸時代，右図アの A 大阪が B「天下の台所」と呼ばれたのに対し，ウの C 江戸は D「天下のおひざもと」といわれた。イの E 奈良は，朝廷がある古代からの都で，西陣織や清水焼などの優れた工芸品もつくられ，文化の中心地としてさかえた。ア，イ，ウの都市をあわせて F 三都と呼んだ。

[解答]D 将軍のおひざもと，E 京都

※出題頻度：「三都○」「江戸(地図)○：将軍のおひざもと○」「大阪(地図)○：天下の台所◎」「京都(地図)○」

[問題](2 学期中間)

　江戸時代「三都」と呼ばれた都市を 3 つ答えよ。

[解答]江戸，大阪，京都

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

(1) 次の①～③は，江戸時代の何という都市の説明か。都市名と，その位置(右図のア～カ)を答えよ。

① ここは「将軍のおひざもと」といわれ，政治の中心地であった。

② ここは朝廷がある古代からの都で，西陣織や清水焼などの優れた工芸品もつくられ，文化の中心地としてさかえた。

③ ここは「天下の台所」といわれ，全国の商業や金融の中心であり，諸藩が蔵屋敷を置いた。

(2) (1)の①～③の都市を合わせて何といったか。

[解答](1)① 江戸，イ　② 京都，エ
③ 大阪，オ　(2) 三都

[問題](3 学期)

　三都の説明として，間違っているものを次の中から 1 つ選び記号で答えよ。

ア　江戸，大坂，京都の三つの大きく発展した都市をまとめて三都と呼んだ。

イ　江戸は「将軍のおひざもと」と呼ばれ，多くの人々が集まった。

ウ　大阪は「天下の台所」と呼ばれ倉庫を備えた邸宅である米屋敷が置かれた。

エ　京都は，学問や文化の中心で，手工業もさかんだった。

[解答]ウ

[問題](2 学期期末)

次は，江戸時代の「三都」についてまとめたものである。後の各問いに答えよ。

A	将軍の城下町で，「(　①　)」と呼ばれた。
B	「(　②　)」と呼ばれ，各藩が，特産物の保管と取引のための(　③　)をつくった。
C	文化の中心，西陣織や清水焼などの優れた伝統品を生産した。

(1) A～C に当てはまる都市名を書け。

(2) ①～③に当てはまる語句を書け。

[解答](1)A 江戸　B 大阪　C 京都

(2)① 将軍のおひざもと　② 天下の台所　③ 蔵屋敷

[商業]

[問題](2 学期期末改)

　次の文章中の①，②に適語を入れよ。

　都市では，問屋や仲買などの大商人が(　①　)という同業者の組織をつくった。(①)は幕府や藩に税を納めるかわりに，営業を独占する特権を認められ，大きな利益を得た。貨幣は，東日本では金，西日本では銀がおもに流通したため，金銀を交換する(　②　)商も増えた。

[解答]① 株仲間　② 両替

※出題頻度：「株仲間○」「両替商○」

[問題](2 学期中間)

次の文中の①～④に適語を入れよ(または，適語を選べ)。

江戸時代，大商人は(　①　)という同業者の組合をつくり，幕府や藩に税を納めるかわりに，営業を独占する特権を認められ，大きな利益を得た。貨幣は銅のほか金銀が使用された。石見銀山や生野銀山があることから②(東／西)日本では銀貨が，③(東／西)日本では金貨が主に流通した。金銀の交換は(　④　)という人たちによって行われた。

[解答]① 株仲間　② 西　③ 東
④ 両替商

[問題](1 学期中間)

　江戸時代の株仲間とはどのような組織か。「税」「独占」という語句を使って簡単に説明せよ。

[解答]幕府や藩に税を納めるかわりに営業の独占を認められた組織。

【各ファイルへのリンク】

社会地理

[世界 1]　[世界 2]　[日本 1]　[日本 2]

社会歴史

[古代]　[中世]　[近世]　[近代]　[現代]

社会公民

[現代社会]　[人権]　[三権]　[経済]

理科 1 年

[光音力]　[化学]　[植物]　[地学]

理科 2 年

[電気]　[化学]　[動物]　[天気]

理科 3 年

[運動]　[化学]　[生殖]　[天体]　[環境]

【FdData 中間期末製品版のご案内】
このPDFファイルは,FdData 中間期末を PDF 形式(スマホ用)に変換したサンプルです。製品版の FdData 中間期末は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイル(A4 版)で,印刷・編集を自由に行うことができます。
◆FdData 中間期末の特徴
中間期末試験で成績を上げる秘訣は過去問を数多く解くことです。FdData 中間期末は,実際に全国の中学校で出題された試験問題をワープロデータ(Word 文書)にした過去問集です。各教科(社会・理科・数学)約 1800～2100 ページと豊富な問題を収録しているため,出題傾向の90%以上を網羅しております。
FdData 中間期末を購入いただいたお客様からは,「市販の問題集とは比べものにならない質の高さですね。子どもが受け

た今回の期末試験では，ほとんど同じような問題が出て今までにないような成績をとることができました。」,「製品の質の高さと豊富な問題量に感謝します。試験対策として，塾の生徒に FdData の膨大な問題を解かせたところ，成績が大幅に伸び過去最高の得点を取れました。」などの感想をいただいております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは，製品の全内容を掲載しており，どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。しかし，FdData 中間期末がその本来の力を発揮するのは印刷ができる製品版においてです。印刷した問題を，鉛筆を使って一問一問解き進むことで，大きな学習効果を得ることができます。さらに，製品版は，すぐ印

刷して使える「問題解答分離形式」，編集に適した「問題解答一体形式」，暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」(理科と社会)の 3 形式を含んでいますので，目的に応じて活用することができます。

FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

◆FdData 中間期末製品版の価格

社会地理，歴史，公民：各 7,800 円

理科 1 年，2 年，3 年：各 7,800 円

数学 1 年，2 年，3 年：各 7,800 円

ご注文は電話，メールで承っております。

FdData 中間期末(製品版)の注文方法

※パソコン版ホームページは，Google　などで「fddata」で検索できます。

※Amazon でも販売しております。

（「amazon　fddata」で検索）

【Fd 教材開発】電話：092-811-0960

メール： info2@fdtext.com